

2023 春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.7 中央集会

日時: 2023年3月7日(火) 18:30~19:00

場所: 日比谷公園 大音楽堂 (YouTubeLive配信あり)

司会 むらかみ 村上 ようこ 陽子 中央闘争副事務局長

未来づくり 春闘

1 開会

2 主催者代表あいさつ

よしの 芳野 ともこ 友子 中央闘争委員長

3 政党激励あいさつ

立憲民主党
国民民主党

いずみ 泉 けんた 健太 代表
たまき 玉木 ゆういちろう 雄一郎 代表



4 現場からの訴え

有期・短時間・
契約等で働く仲間代表

うの 鵜野 みちこ 美智子 氏(千葉市保育所等会計年度任用職員労働組合)

5 労働組合へ期待すること

学生代表

ささき 佐々木 はると 悠翔 氏(日本若者協議会 理事)

6 アピール(案)提起

ふくだ 福田 ちあき 千秋 中央闘争委員

7 まとめ・がんばろう三唱

しみず 清水 ひでゆき 秀行 中央闘争事務局長

8 閉会

2023年
3月7日(火) 18:30~19:00
You Tube Live配信



2023年3月7日

立憲民主党 代表 泉 健太 様
国民民主党 代表 玉木 雄一郎 様

日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

要 請 書

日本経済は、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ軍事侵攻による影響からいまだ抜け出せず、回復の軌道に乗り切れない状況です。一方で、輸入物価の高騰などにより、消費者物価上昇率は数十年ぶりの高い水準で推移しており、私たち働く者のくらしは、依然厳しい状況が続いています。

連合は、現下の経済・社会情勢を踏まえ、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けた政策課題について、連合本部・構成組織・地方連合会が一体となって幅広い運動を展開しています。

今次闘争における運動の両輪として、連合の「2023 春季生活闘争方針」において確認された内容を以下のとおり要請いたします。実現に向け、貴党にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 現下の経済・社会情勢を踏まえた 2023 年度予算編成と 2023 年度税制改正実現
(税による所得再分配機能の強化、「給付付き税額控除」の仕組み構築など)
2. 価格転嫁や取引の適正化につながる諸施策の実効性の向上
3. すべての人が安心して働き暮らせるよう、社会保障制度の充実・確保
(年金、医療・介護、子ども・子育て支援など)
4. すべての労働者の雇用の安定・人への投資拡充
5. あらゆるハラスメント対策と差別禁止
6. 学校職場における教職員の負担軽減

以 上

2023春季生活闘争 政策・制度 要求実現3.7中央集会 アピール(案)

われわれは本日、「賃上げ実現・暮らし支援 明日を変える連合緊急アクション」ですべての都道府県を走破したラッピングカー6台に込められた全国の仲間の思いとともに本集会を開催し、2023春季生活闘争を最後まで粘り強く闘い抜き、とりわけ中小企業およびパート・有期・契約等で働く労働者の賃上げをすすめ、さらに労働組合のない職場で働く仲間にも大きなうねりを広げていく決意を改めて確認した。

ほぼ40年ぶりとなる物価高のなか、多くの組合が賃上げを中心とする「人への投資」にこだわった要求を提出し、現在、その要求に沿った回答を引き出すべく、精力的に交渉を進めている。

「人への投資」が低迷し、雇用・労働条件の向上が置き去りにされてきた結果、わが国の経済と賃金は20年以上にわたり停滞している。この現状から賃金も物価も経済も安定的に上昇する姿へとステージを変えていくために、私たち労働組合がけん引役となって、2023春季生活闘争をターニングポイントとして賃上げを勝ち取る必要がある。

あわせて、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向け、私たちの求める政策・制度要求への取り組みを強力に推進していく。

2023春季生活闘争はヤマ場を迎える。

労使は社会的責任を果たすため、今こそ答えを出す時である。組合員はもとより、すべての働く仲間の「暮らしをまもり、未来をつくる。」のが今次闘争である。

この断固たる決意をもって、組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！

2023年3月7日

連合「2023春季生活闘争 政策・制度 要求実現3.7中央集会」

